

# 警 防 編

車両の配置状況	3 9
消防水利の状況	3 9
消防機材の配置状況	4 0
火災の概要	4 1
市町村別の火災状況及び月別の火災件数	4 2 ~ 4 3
原因別の出火件数	4 4
火災件数 10 年の推移	4 4
救急の概要	4 5
市町村別の救急状況	4 6
月別、時間別の出動件数	4 7
年齢区分別、程度別、月別の搬送状況	4 8
程度別の搬送状況	4 9
救急出動件数 10 年の推移	4 9
応急手当の普及啓発活動状況	5 0
救命スタッフのいる事業所認定制度	5 0
救助の概要	5 1
月別、市町村別の出動件数	5 1
発生場所別の出動件数	5 2
事故種別出動件数比率	5 2
出動人員、活動人員	5 3
救助出動件数 10 年の推移	5 3
通信指令系統図	5 4
119 番着信状況	5 5
医療機関案内状況	5 5

# 用語の定義

## 建物火災焼損程度

- 全 焼 …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の70パーセント以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。
- 半 焼 …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20パーセント以上のもので全焼に該当しないものをいう。
- 部 分 焼 …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20パーセント未満のものでぼやに該当しないものをいう。
- ぼ や …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10パーセント未満であり焼損床面積が1平方メートル未満のもの、建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10パーセント未満であり焼損表面積が1平方メートル未満のもの、又は収容物のみ焼損したものをいう。

## 救急事故種別

- 火 災 …… 火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
- 自然災害 …… 暴風、豪雨、高潮、地震等の異常な自然現象に起因する事故をいう。
- 水難事故 …… 水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
- 交通事故 …… すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故、若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
- 労働災害 …… 各種工場、事業所、作業場等で就業中発生した事故をいう。
- 運動競技 …… 運動競技の実施中に発生した事故をいう。
- 一般負傷 …… 他に分類されない不慮の事故をいう。
- 加 害 …… 故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
- 自損行為 …… 故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
- 急 病 …… 疾病によるもので、救急業務として行ったものをいう。
- そ の 他 …… 転院搬送、医師・資器材等の搬送及びその他上記に分類不能のものをいう。

## 車両の配置状況

車種	配置先	消防本部	消防署					合計
			本署	東部分署	西部分署	朝倉出張所	東出張所	
指揮車			1					1
水そう付ポンプ車			1	1	1	1	1	5
ポンプ車			1		1			2
化学車			1					1
はしご車			1					1
救助工作車			1					1
司令車				1	1	1	1	4
高規格救急車			2	1	1	1	1	6
資材運搬車			2					2
防火広報車		1						1
支援車			1					1
その他の車両		3	1					4
合計		4	12	3	4	3	3	29

## 消防水利の状況

種別 市町村	消火栓	防火水そう		井戸		プール 20t以上	合計
		40t以上	20t以上	40t以上	20t以上		
朝倉市 (旧甘木市)	450	199	30	74	10	13	776
朝倉市 (旧杷木町)	153	61	5		2	3	224
朝倉市 (旧朝倉町)		94	7	18	2	1	122
東峰村	11	54	3			2	70
筑前町	381	272	24	1	1	8	687
合計	995	680	69	93	15	27	1,879

# 消防機材の配置状況

種 別		配置先					合 計
		本 署	東 部 分 署	西 部 分 署	朝 倉 出 張 所	東 出 張 所	
消 防 用 資 器 材	カギ付はしご	3	1				4
	三連はしご	3		1			4
	空気式救助マット	1					1
	救命索発射銃	1					1
	可搬式ウィンチ	2					2
	マンホール救助器具	1					1
	マット型空気ジャッキ	1					1
	大型油圧スプレッダー	1					1
	エンジンカッター	2	1	1	1	1	6
	ガス溶断器	1					1
	チェーンソー	6	2	2	2	2	14
	大型油圧切断機	1					1
	万能斧	6	2	2	2	2	14
	可燃性ガス測定器	1	1	1	1	1	5
	空気呼吸器	24	4	7	4	4	43
	酸素呼吸器	5					5
	潜水器具一式	6					6
	救命ボート	2					2
	船外機	2					2
	投光器一式	12	1	2	1	1	17
緩降器	3	1	1	1		6	
化学防護服	4					4	
充電式油圧救助器具	2	1	1	1	1	6	
エアータント	2					2	
救 急 資 器 材	気道確保資器材一式	3	1	1	1	1	7
	自動体外式除細動器	3	2	2	2	2	11
	ショックパンツ	2	1	1	1	1	6
	輸液用資器材一式	2	1	1	1	1	6
	患者監視装置	2	1	1	1	1	6
	自動心臓マッサージ器	1	1	1	1	1	5
	喉頭鏡・マギール鉗子	2	1	1	1	1	6
	室内紫外線殺菌装置						
	室内オゾン殺菌装置	2	1	1	1	1	6
	紫外線殺菌ロッカー	1	1	1	1	1	5

## 火災の概要

平成31年中の出火件数は39件で前年より3件の増加となり、これは月平均3.3件、約9日に1件の割合で火災が発生したことになります。火災種別ごとにみると建物火災19件（48.7%）、その他の火災11件（28.2%）、車両火災5件（12.8%）、林野火災4件（10.3%）となっています。

損害額は197,579千円で、前年より137,665千円の増加となりました。また、火災により20世帯49人がり災し、死者1人、負傷者3人発生しています。

項	目	単位	平成31年	平成30年	比較（▲減）
	火災発生件数	件	39	36	3
内 訳	建物火災	件	19	21	▲ 2
	林野火災	件	4	1	3
	車両火災	件	5	3	2
	その他火災	件	11	11	
総	損害額	千円	197,579	59,914	137,665
内 訳	建物損害額	千円	195,756	57,900	137,856
	（内収容物損害額）	千円	101,143	26,217	74,926
	林野損害額	千円			
	車両損害額	千円	1,131	1,488	▲ 357
	その他損害額	千円	692	526	166
	建物焼損床面積	m <sup>2</sup>	4,151	1,346	2,805
	建物焼損表面積	m <sup>2</sup>	259	358	▲ 99
	林野焼損面積	a	48	1	47
	焼損棟数	棟	43	33	10
	り災世帯数	世帯	20	18	2
	り災人員	人	49	52	▲ 3
	死者数	人	1	1	
	負傷者数	人	3	1	2
	一月平均火災件数	件	3.3	3.0	0.3
	出火率	件	4.6	4.2	0.4
	管内人口	人	84,742	85,320	▲ 578

（注）出火率は人口1万人当たりの出火件数（人口はそれぞれ年末の住民基本台帳人口）

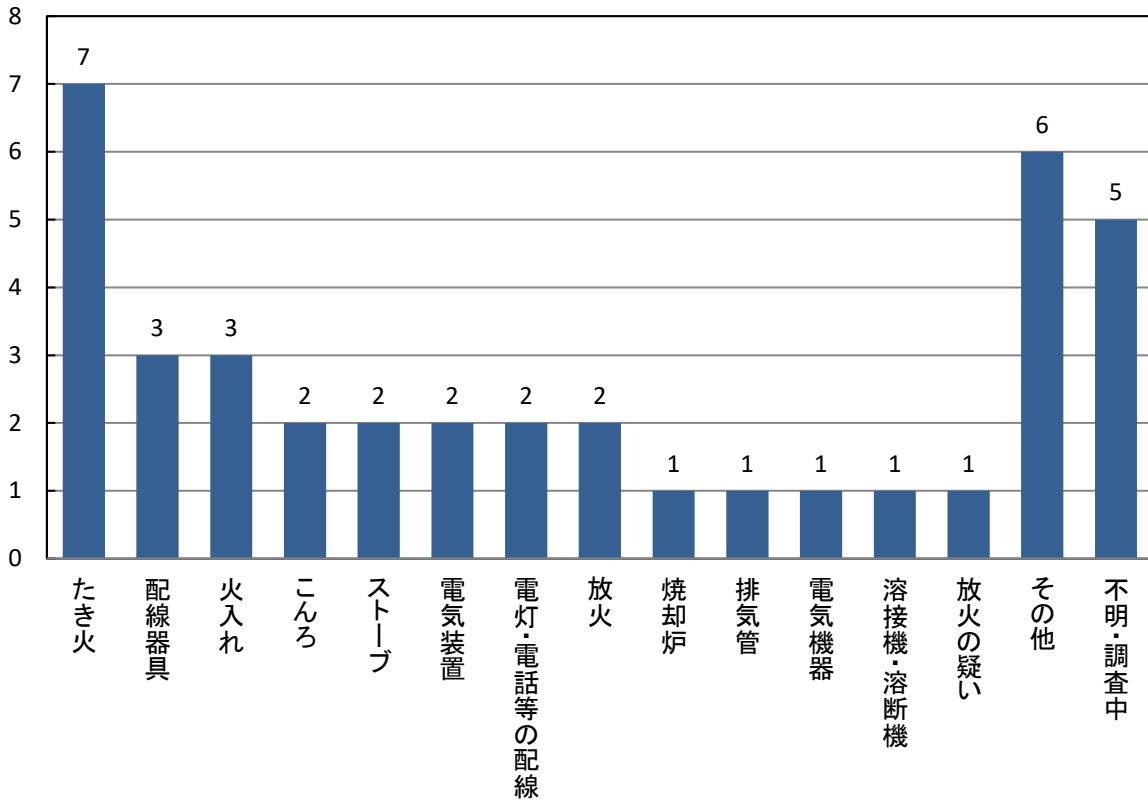
## 市町村別の火災状況及び月別の火災件数

市町村 月別	項目 年	出火件数					損害額合計 (千円)	建物の損害			
		合計	建物	林野	車両	その他		建物損害額 (千円)	(内収容物損害額) (千円)	焼損床面積 (㎡)	焼損表面積 (㎡)
朝倉市	30	22	12	1	2	7	34,145	33,447	10,674	1,075	133
	31	28	14	4	4	6	169,201	167,960	96,959	3,702	250
東峰村	30	3	2			1	1,552	1,552	230	97	
	31	2			1	1	71				
筑前町	30	11	7		1	3	24,217	22,901	15,313	174	225
	31	9	5			4	28,307	27,796	4,184	449	9
合計	30	36	21	1	3	11	59,914	57,900	26,217	1,346	358
	31	39	19	4	5	11	197,579	195,756	101,143	4,151	259
1月		5	3	2			41,981	41,981	26,576	826	1
2月		4	3		1		16,305	16,285	1,667	394	
3月		5	3		1	1	103,477	103,395	68,390	2,380	224
4月		3	3				103	103	103		
5月		7	1	1		5	735	60	60		
6月		4	3	1			26,557	26,557	3,136	332	34
7月		3	1		1	1	711	511	4	28	
8月		1				1	6				
9月		3	1			2	468	468	304	10	
10月											
11月		1				1					
12月		3	1		2		7,236	6,396	903	181	
合計		39	19	4	5	11	197,579	195,756	101,143	4,151	259

林野の損害		車両の損害		その他の損害	焼 損 棟 数					り 災 世 帯 数				り 災 人 員	死 傷 者	
損 害 額 (千円)	焼 損 面 積 (a)	損 害 額 (千円)	焼 損 台 数	損 害 額 (千円)	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	全 損	半 損	小 損		死 者	負 傷 者
	1	323	2	375	21	6		10	5	14	4		10	35		1
	48	1,060	5	181	34	10	3	8	13	11	3		8	31	1	2
					2	1	1			1		1		6		
		71	1													1
		1,165	2	151	10	4	1	3	2	3			3	11	1	
				511	9	3		3	3	9	3		6	18		
	1	1,488	4	526	33	11	2	13	7	18	4	1	13	52	1	1
	48	1,131	6	692	43	13	3	11	16	20	6		14	49	1	3
	30		1		7	3	1		3	2	2			4		
		20	1		5	2		1	2	4	2		2	10		1
		71	1	11	16	3	2	6	5	5			5	17		
					3				3	2			2	3		
	16			675	1				1	1			1	2		
	2				7	3		3	1	5	2		3	11		
		200	1		1	1										
				6												
					1			1		1			1	2	1	1
																1
		840	2		2	1			1							
	48	1,131	6	692	43	13	3	11	16	20	6		14	49	1	3

## 原因別の出火件数

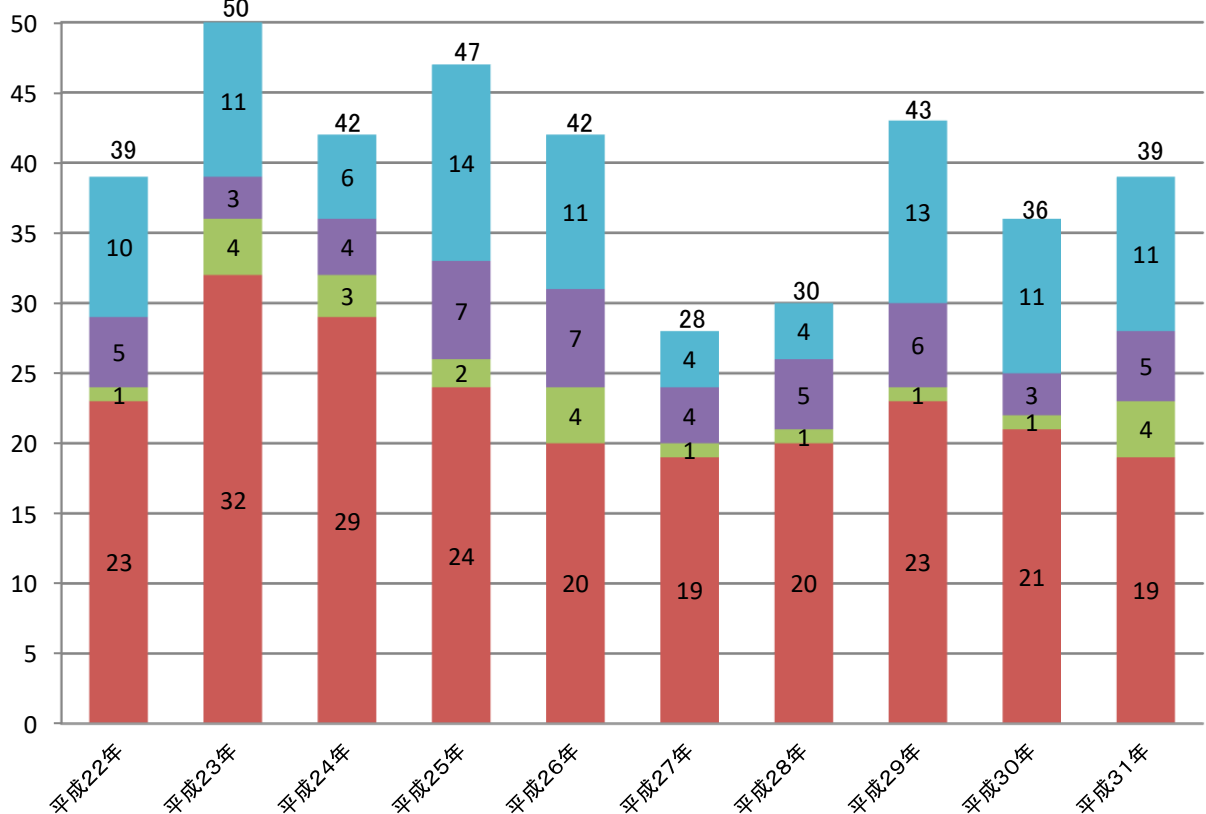
(件)



## 火災件数10年の推移

(件)

■ 建物 ■ 林野 ■ 車両 ■ その他





## 救急の概要

平成31年中の救急出動件数は4,031件で、前年に比べて108件の減少となりました。これは1日平均11.0件（前年11.3件）で約130分に1件の割合で出動し、管内住民約22人に1人が救急車を利用したことになります。これを事故種別ごとにみると、急病2,438件（60.5%）、一般負傷666件（16.5%）、転院搬送439件（10.9%）、交通事故299件（7.4%）、これ以外の出動件数は189件（4.7%）となっています。

また、管内には第三次救急医療機関が無いため、管外への転院搬送が大きな比率を占めています。

項目	単位	平成31年	平成30年	比較（▲減）	
出動件数	件	4,031	4,139	▲ 108	
搬送件数	件	3,732	3,870	▲ 138	
不搬送件数	件	299	269	30	
出動件数の内訳	火災	件	2	1	1
	自然災害	件	2	3	▲ 1
	水難	件	3	1	2
	交通事故	件	299	310	▲ 11
	労働災害	件	102	99	3
	運動競技	件	28	27	1
	一般負傷	件	666	633	33
	加害	件	7	6	1
	自損行為	件	27	22	5
	急病	件	2,438	2,535	▲ 97
	その他	転院搬送	件	439	490
医師搬送		件			
資器材搬送		件			
その他		件	18	12	6
搬送人員	人	3,767	3,911	▲ 144	
傷病程度	死亡	人	85	65	20
	重症	人	461	542	▲ 81
	中等症	人	1,916	1,945	▲ 29
	軽症	人	1,305	1,359	▲ 54
	その他	人			
1日平均出動件数	件	11.0	11.3	▲ 0.3	
1隊平均出動件数	件	806	828	▲ 22	
救急車利用率	人	管内住民約22人に1人	管内住民約22人に1人		
管内人口	人	84,742	85,320	▲ 578	

（注）人口はそれぞれ年末の住民基本台帳人口

## 市町村別の救急状況

項 目	単位	朝 倉 市	東 峰 村	筑 前 町	管 外	合 計	
出 動 件 数	件	2,652	111	1,266	2	4,031	
搬 送 件 数	件	2,469	105	1,156	2	3,732	
搬 送 人 員	人	2,486	108	1,171	2	3,767	
出 動 件 数 の 内 訳	火 災	件	2			2	
	自 然 災 害	件	1		1	2	
	水 難	件	2		1	3	
	交 通 事 故	件	176	12	109	2	
	労 働 災 害	件	87	4	11	102	
	運 動 競 技	件	9	1	18	28	
	一 般 負 傷	件	424	24	218	666	
	加 害	件	6		1	7	
	自 損 行 為	件	17		10	27	
	急 病	件	1,549	66	823	2,438	
	そ の 他	転 院 搬 送	件	367	3	69	439
		医 師 搬 送	件				
		資 器 材 搬 送	件				
そ の 他		件	12	1	5	18	
傷 病 程 度	死 亡	人	58	4	23	85	
	重 症	人	332	17	111	461	
	中 等 症	人	1,257	54	605	1,916	
	軽 症	人	839	33	432	1,305	
	そ の 他	人					
1 日 平 均 出 動 件 数	件	7.2	0.3	3.5	0.01	11.0	
各 市 町 村 人 口	件	52,820	2,082	29,840		84,742	

(注) 人口はそれぞれ年末の住民基本台帳人口

# 月別、時間別の出動件数

(単位:件)

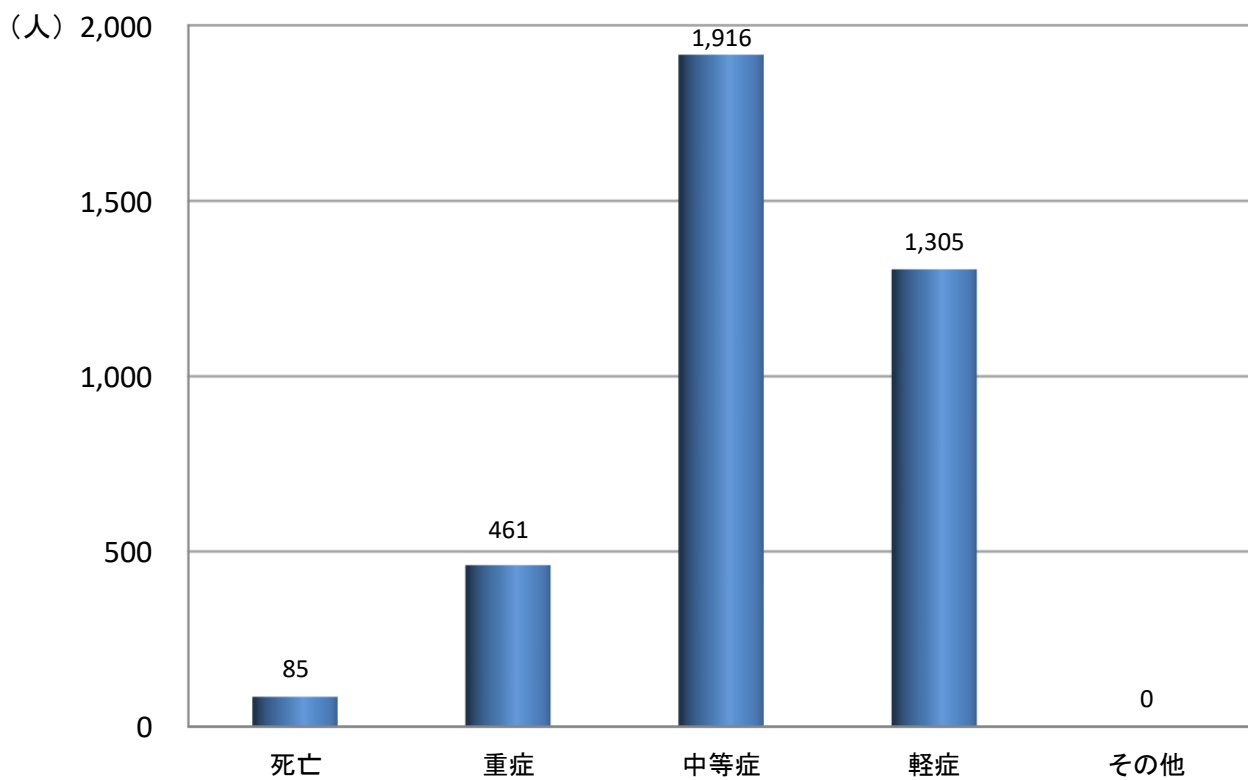
種別 月 時間帯	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
1月	401				15	7	1	70	2		260	45			1
2月	303				21	8	1	49		5	178	38			3
3月	341				25	9	2	54		1	210	40			
4月	332				19	2	2	55	1	1	204	44			4
5月	314			1	27	9	4	52	1	2	172	45			1
6月	308				27	7	6	49		1	183	34			1
7月	314		1		27	5	2	51		3	194	30			1
8月	379			1	20	18	3	56	1	3	238	37			2
9月	305	1	1		20	15	2	57		1	182	24			2
10月	382			1	39	12	2	57	1	5	223	39			3
11月	313	1			29	4	1	58	1	2	185	32			
12月	339				30	6	2	58		3	209	31			
合計	4,031	2	2	3	299	102	28	666	7	27	2,438	439			18
0~2	170				2	1		17	1		138	10			1
2~4	148				1	1		25			115	5			1
4~6	116				7	1		16		4	82	5			1
6~8	274				34	5	1	48		2	180	4			
8~10	464		1		41	7	3	86		5	278	42			1
10~12	550				36	23	10	73	1	1	285	116			5
12~14	434			1	35	11	6	82		5	224	69			1
14~16	413			1	37	23	1	57	1	1	226	65			1
16~18	446	1		1	41	14	1	88		3	237	58			2
18~20	453				39	7	2	81	3	2	279	39			1
20~22	317	1			18	5	4	53		1	219	14			2
22~24	246		1		8	4		40	1	3	175	12			2

# 年齢区分別、程度別、月別の搬送状況

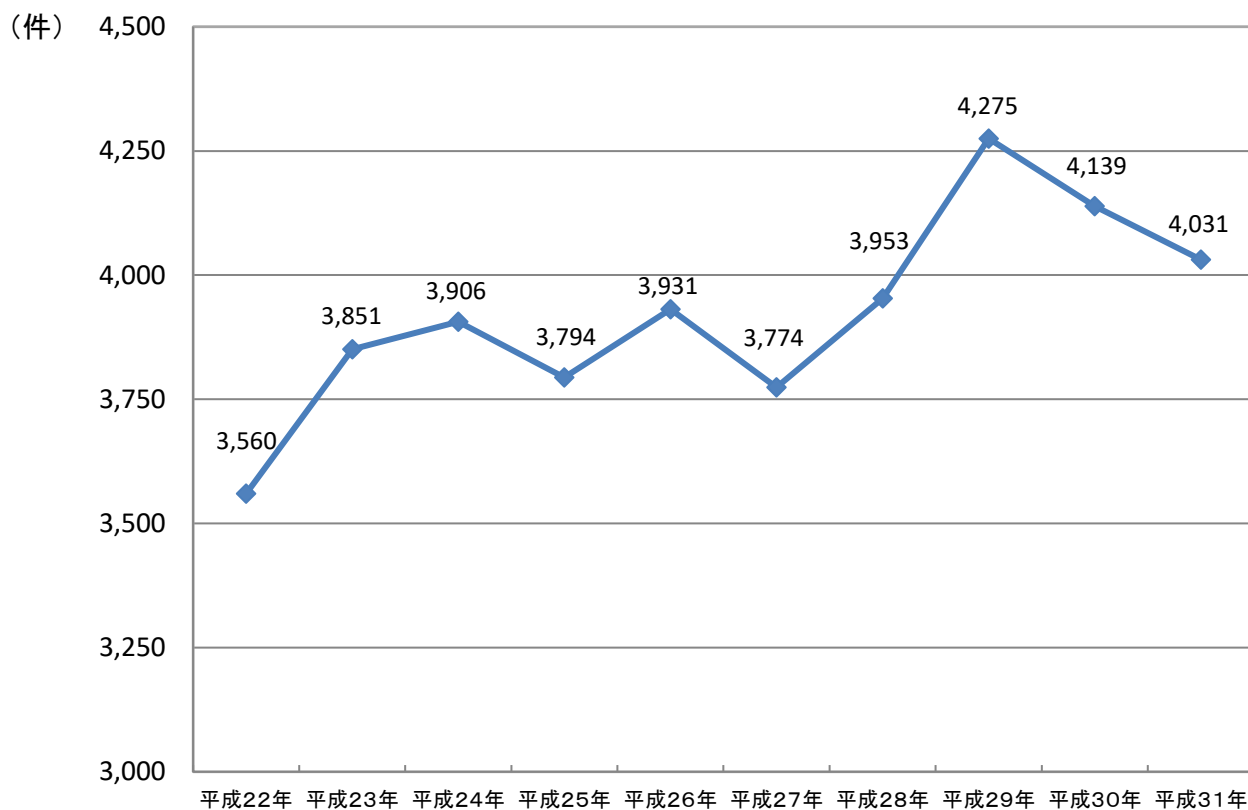
(単位:人)

種別 項目	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
搬送人員	3,767	1	1	2	303	100	29	618	6	10	2,261	435			1
年齢区分別	新生児	2									2				
	乳幼児	171			1	8		37			118	7			
	少年	124				28	1	19	13	1	59	3			
	成人	1,002		1		160	83	9	84	3	6	546	109		1
	高齢者	2,468	1		1	107	16	1	484	3	3	1,536	316		
程度別	死亡	85				3		22		2	57	1			
	重症	461	1		1	17	11	1	69		2	261	98		
	中等症	1,916			1	101	49	9	310	1	3	1,144	297		1
	軽症	1,305		1		182	40	19	217	5	3	799	39		
	その他														
月別	1月	364				14	6	1	63	1		234	45		
	2月	279				21	8	1	44			167	38		
	3月	321				24	9	2	49		1	196	40		
	4月	307				15	2	3	52	1	1	189	44		
	5月	299			1	27	9	4	50	1	2	160	45		
	6月	294				28	7	6	48			172	33		
	7月	286				25	5	2	49		1	175	29		
	8月	358			1	22	17	3	52	1	3	222	37		
	9月	285		1		22	15	2	53			168	24		
	10月	357				43	12	2	54	1		206	38		1
	11月	294	1			30	4	1	53	1		172	32		
	12月	323				32	6	2	51		2	200	30		

## 程度別の搬送状況



## 救急出場件数10年の推移



## 応急手当の普及啓発活動状況

区分 年	救命講習			
	講習回数	新規受講者数	再受講習者数	合計
平成 17 年	74	1,280	275	1,555
平成 18 年	83	1,560	249	1,809
平成 19 年	70	1,132	201	1,333
平成 20 年	59	1,138	268	1,406
平成 21 年	33	692	104	796
平成 22 年	41	791	106	897
平成 23 年	45	882	115	997
平成 24 年	42	1,047	112	1,159
平成 25 年	39	987	65	1,052
平成 26 年	42	963	133	1,096
平成 27 年	38	812	52	864
平成 28 年	41	999	134	1,133
平成 29 年	26	575	85	660
平成 30 年	28	679	33	712
平成 31 年	32	708	41	749
合計	693	14,245	1,973	16,218

※ 過去15年間の新規受講者総数は14,245人で管内住民の約6人に1人が救命講習を受講したことになります。平成29年7月九州北部豪雨の影響のため、平成29年7月から平成30年2月まで救命講習を一時中止しています。

## 救命スタッフのいる事業所認定制度

消防本部においては、応急手当の普及啓発活動を推進するため、積極的に救命講習を開催しております。また一人でも多くの救命を行うことを目的とし、平成16年4月1日より、救命講習を受講した事業所を「救命スタッフのいる事業所」として認定する制度を実施しています。

### 救命スタッフのいる事業所認定状況

朝倉市	東峰村	筑前町	合計(事業所)
76	13	14	103

平成17年度から平成31年度までに各事業所の協力を得て103事業所が認定を受けています。今後、更なる充実強化を目指します。

## 救助の概要

平成31年中の救助出動件数は48件で、前年より14件の減少となり、事故種別ごとにみると交通事故17件（35.4%）、建物等による事故6件（12.5%）、機械による事故6件（12.5%）、水難事故3件（6.3%）、風水害等自然災害事故1件（2.1%）、その他の事故15件（31.2%）となっています。これらの事故で延べ513人の隊員が出動し、23人を救助しました。

項目	火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計	前年
	建物	建物以外											
出動件数			17	3	1	6	6				15	48	62
出動人員			197	32	10	57	58				159	513	710
救助人員			11	2		2	2				6	23	32
出動車両台数			65	11	3	19	19				55	172	235

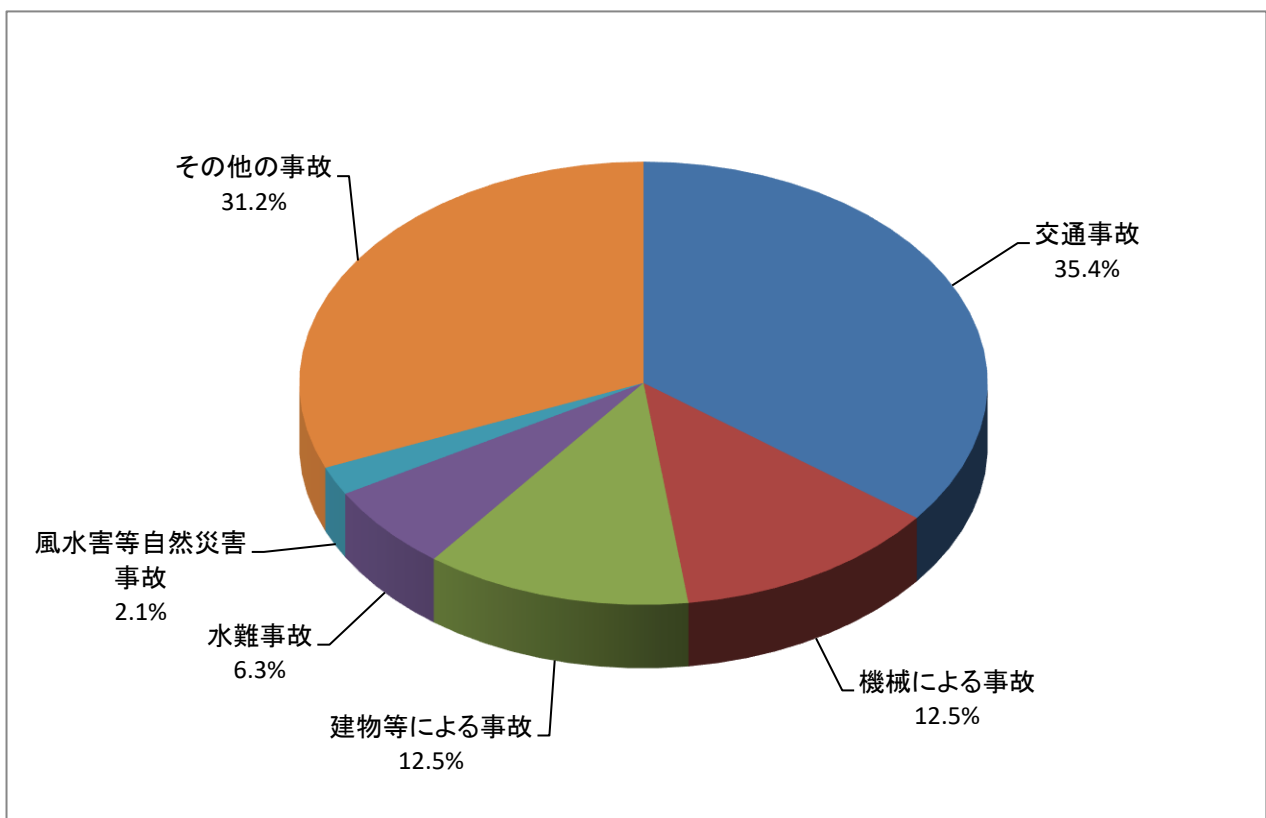
## 月別、市町村別の出動件数

月別 市町村別	火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計	前年
	建物	建物以外											
1月			2					3			1	6	3
2月			2								3	5	9
3月			3					1				4	6
4月													3
5月				1								1	3
6月			2				1				1	4	3
7月			2		1						3	6	10
8月				1			2				1	4	4
9月			1								2	3	6
10月			2	1			2				2	7	1
11月			2					1			2	5	10
12月			1				1	1				3	4
合計			17	3	1	6	6				15	48	62
朝倉市			10	2			5	5			12	34	40
東峰村			2					1				3	4
筑前町			4	1	1	1					3	10	15
管外			1									1	3

## 発生場所別の出動件数

事故種別 発生場所		火 災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外										
屋 内	住 居							1	6			2	9
	その他の屋内							1					1
屋 外	道路			1								1	2
	その他の道路			13			1					1	15
外	水面				3							1	4
	外 水面												
外	山 岳											4	4
	その他の屋外			3				4				5	12
地 下													
そ の 他												1	1
合 計				17	3	1		6	6			15	48

## 事故種別出動件数比率

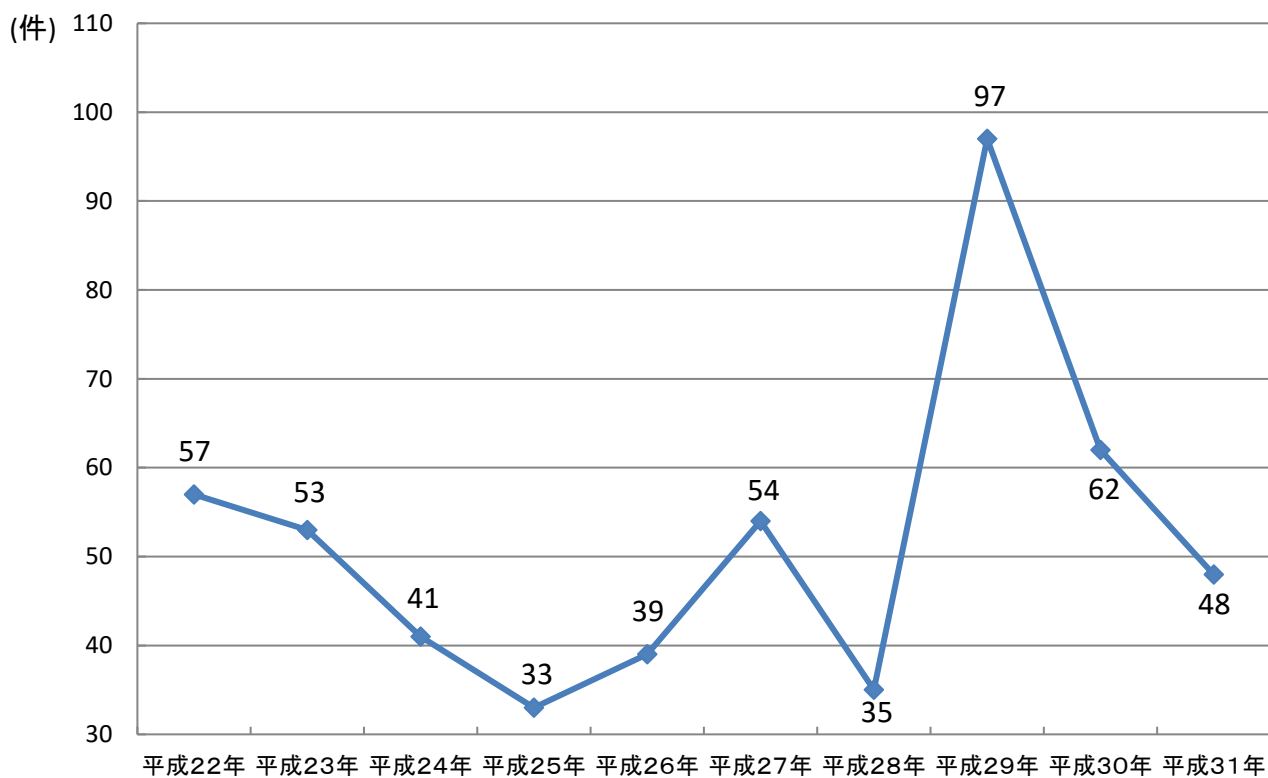




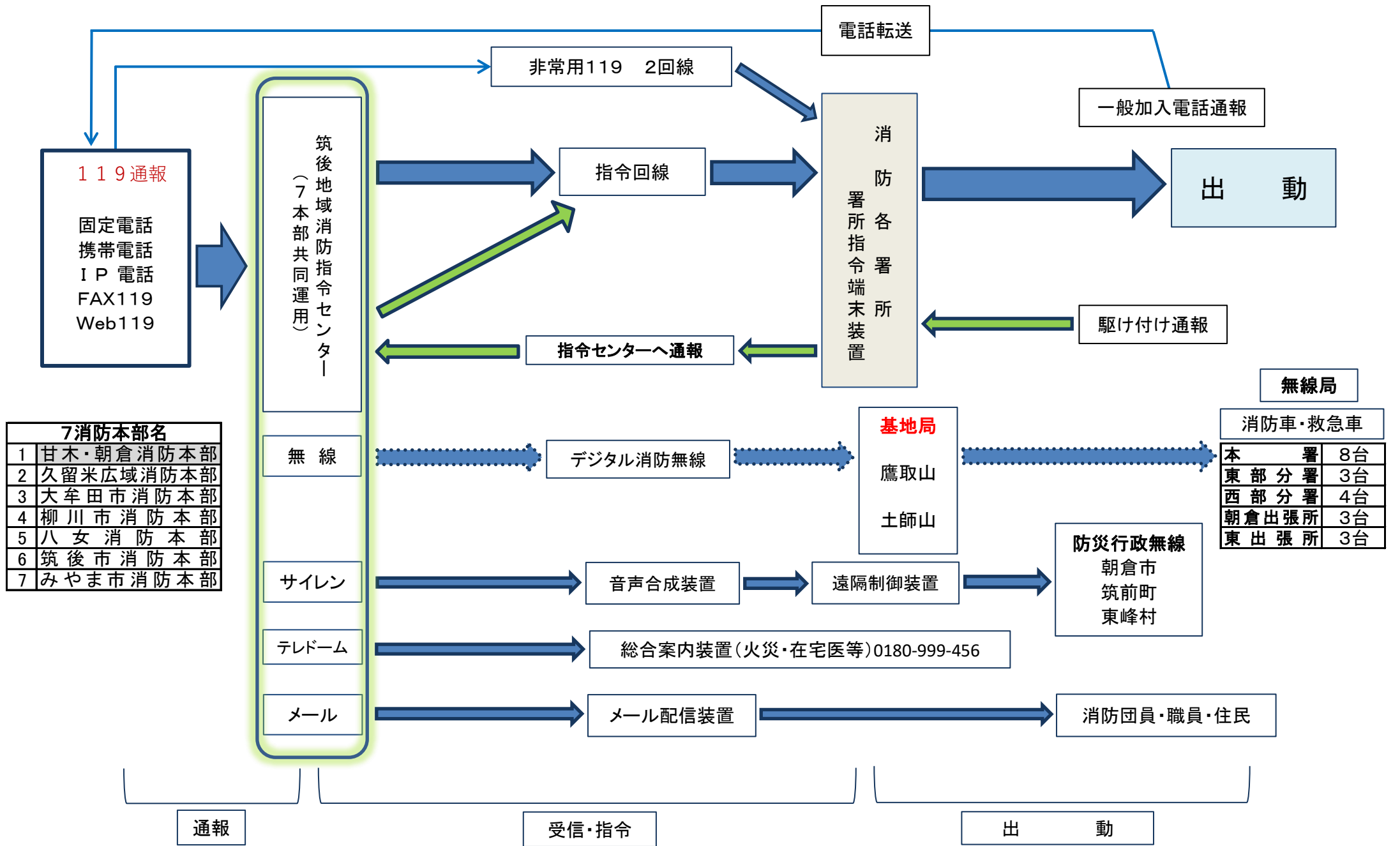
## 出動人員、活動人員

項目		火 災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外										
出 動 人 員	救 助 隊 員			66	9	4	24	22				58	183
	消 防 隊 員			63	14	3	15	16				52	163
	救 急 隊 員			68	9	3	18	20				49	167
	消 防 団 員												
	合 計			197	32	10	57	58				159	513
活 動 人 員	救 助 隊 員			32	6		4	4				24	70
	消 防 隊 員			32	7		5	2				18	64
	救 急 隊 員			24	6		6	3				15	54
	消 防 団 員												
	合 計			88	19		15	9				57	188

## 救助出動件数10年の推移



# 通信指令系統図



# 119番着信状況

月別 種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	10	7	10	3	12	19	6	7	2		1	7	84
救急 救助	407	310	355	350	322	312	325	377	309	383	320	343	4,113
その他 災害	9	9	9	9	6	12	22	20	14	14	7	17	148
合計	426	326	374	362	340	343	353	404	325	397	328	367	4,345

問合わせ 訓練 誤報等	朝倉市			筑前町			東峰村			合計
		667			276			36		

月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
内科	10	6	2	1	3	3	7	7	3	3	3	4	52
外科	2	2	3	2	5	7	3	5	6	2		5	42
小児科					2	1	4	2	3		1	2	15
特殊科	4	3	1	1	3		2	1	4	2		1	22
合計	16	11	6	4	13	11	16	15	16	7	4	12	131